



人は、ひとりでは生きていけない。  
誰かの愛があなたを支えている。

フィリダ・ロー

エマ・トンプソン

アラン・リックマン監督作品

# ウィンター・ゲスト

the Winter Guest

フィリダ・ロー エマ・トンプソン The Winter Guest

シーラ・レイド サンドラ・ウォー アーリーン・コックバーン ゲーリー・ハリウッド ショーン・ピガースタッフ ダグラス・マフィー  
音楽：マイケル・ケイメン プロダクション・デザイン：ロビン・キャメロン・ドン 衣装デザイン：ジョアン・バージン 編集：スコット・トーマス 撮影：シマス・マクガーヴィー  
アソシエイト・プロデューサー：アラン・J・ワズ 共同製作：ステイヴ・クラーク=ホル 脚本：シャーマン・マクドナルド&アラン・リックマン  
製作：ケン・リップー エドワード・R.プレスマン 監督：アラン・リックマン

© Pressman Lipper Production 1997 配給：K2エンタテインメント

提供：フジクリエイティブコーポレーション、K2エンタテインメント

<http://www.fujicreative.com/movie.html>



後援 ● 英国大使館 / プリティッシュ・カウンシル

◆1997年ベネチア国際映画祭3部門受賞(エキュメニカル賞 ユース賞最優秀外国語映画賞 パンネティ賞) ◆1997年シカゴ国際映画祭グランプリ受賞

# the Winter Guest

1997年イギリス映画/カラー/ヴィスタ・サイズ/ドルビーSR/110分/配給:K2エンタテインメント/提供:フジクリエイティブコーポレーション/K2エンタテインメント



“これはプリンセス・ダイアナのための作品です。”

イギリスの舞台俳優であり、映画『いつか晴れた日に』などでも知られるアラン・リックマンは97年9月、モントリオール映画祭で、彼の初監督作である『ウインター・ゲスト』を今は亡きプリンセス・ダイアナに捧げた。

1995年からロンドンで『ウインター・ゲスト』の舞台を演出していた彼は、早くからこの作品が映画向きなことに気が付き、舞台で母親役(エルスベス)を演じたフィリダ・ローに映画出演を打診し、彼女の実の娘であるエマ・トンプソンとの共演を提案した。エマがこの申し出を快く引き受け、この素晴らしい映画が誕生した。

## エマ・トンプソンと実母フィリダ・ローの息の合った演技にアカデミー賞の声

フランス(エマ・トンプソン)は夫を亡くした喪失感からカメラマンの仕事も投げ出したままだ。年長いた母エルスベス(フィリダ・ロー)はそんな娘の姿をもどかしく思い、口をださずにいられない。しかし、老いた自分を置いて娘が自分から離れていってしまうことも心配なのだ。悲しげな母フランスを見つめる息子アレックス(ゲイリー・ハリウッド)は、彼に好意を寄せる少女との淡い初恋に、大人の世界へ踏み出そうとしている。誰もが凍てついた冬の中で、人生に思い悩み、方向を失って立ちすくんでいる。霧に閉ざされた海の方角から射す希望の光のように、愛する人のあたたかな手が迷い人をそっと導いてくれる。それが『ウインター・ゲスト』なのかもしれない。

## 美しいスコットランドの海辺に流れるピアノ曲。

撮影はスコットランドの港町、ファイフで行われた。登場人物の心象を静かな冬の風景に巧みに映し出したのは、アイルランド出身の撮影監督シーマス・マクガーヴィー。マイケル・ウィンターボトム監督の『バタフライ・キス』でも撮影監督をつとめた注目のカメラマンである。音楽を担当するのは、『陽のあたる教室』のマイケル・ケイメン。ヒーリング系人気グループ、コクトー・ツインズのエリザベス・フレイザーがピアノにあわせて歌う美しい旋律が心に沁みる。(サウンドトラック盤:カルチュア・パブリッシャーズ)

「優しくて、美しく、繊細なこの映画を、ぼくはアランの友人として、みなさんに是非みてほしいと思います。」— 蜷川幸雄(演出家)

「実の親子であるフィリダ・ローとエマ・トンプソンの演技が光る美しく情感あふれる映画。」— ポストン・グローブ紙



1997ベネチア国際映画祭3部門受賞  
1997シカゴ国際映画祭グランプリ受賞



### 近日ロードショー!!

◆前売券好評発売中!! 一般券 1,600円(税込)

●上映日・時間は劇場へお確かめください。●劇場窓口のみお買い上げのお客様に特製ポストカード(限定)プレゼント!

ナビオ阪急北向い

(311)2478

OS劇場 C.A.P